

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和 5年 3月 1日

事業所名 かたつむりクラブ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	10	1	1	外での活動を多く取り 入れるようにしている。 公園など外へ行く活動 をしている。	基準は満たしているがもっと広 いとよい。
	②	職員の配置数は適切である	13	0	0	基準以上で子ども職員 が1対1または2対1。 10:8で対応している。 集团の中で子ども一 人一人への関わりを大 切にしている。	人件費が運営を圧迫している。 稼ぎ出しをがんばる。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	6	6	1	利用者一人一人に合 わせた配慮の工夫を その都度でしている。	部屋の構造上仕方ないがトイレ の入り口に段差がある。 車いすの子どもには不便さがある。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画 している	9	2	1	もっと柔軟な感じで、そ の日その日に話し合っ ている。 方向性が示され共有し ている。 会議や学習会など。	全職員は参加できていない。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	11	2	0	アンケートだけでなく、 直接保護者の声も取り 入れるようにしている。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	12	0	1	保護者には配布し、 ホームページにも公開 している。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	6	5	2		外部評価は受けていないと思 う。 金銭的な余裕がない。閉室にす ることができない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	13	0	0	内部研修だけでなく、外 部研修の機会も設けて いる。 施設内外で機会があ る。	職員(スタッフ)全員が学べる機 会を今後も作っていきたい。
適切 な支 援	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	13	0	0	指導員間で話し合い 作成している。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	5	7	1	話し合いを大事にして いる。	質問内容がつかめない。 あまり参考になっていないこと も…。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	10	3	0	子どもの状況やスタッフ に合わせて活動を考え ている。	指導員間で行い、スタッフにも 理解してもらっている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	9	4	0	季節の行事等を取り入 れている。	固定化とは？同じ活動の方が安 心する子もいます…。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	12	1	0	公共交通機関を利用す る、たくさん歩くなど休 日、長期休暇には行っ ている。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	13	0	0	個人を大切にした上 で、集団活動につなげ ている。 工夫しながら常用に応 じて寄り添っている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
の 提 供	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	10	3	0	子どもの状況については情報共有をはかっている。 記録で情報収集。必要に応じ指導員から直接情報提供がある。 全員同時ではないが、必要な情報は共有できている。 個別に今日、その子につくスタッフにその子の状況を伝えることはある。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	13	0	0	活動ノートを書いている。 記録に残し、気になったこと、発見したことは報告するようにしている。 意見交換や気づきの共有、相談ができる。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	13	0	0	とてもしっかり記録されている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	11	2	0	年に2回している。 面談、日々の電話、お迎え等。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	9	3	0	生活、遊び、仲間作り、地域でを念頭に行っている。	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	13	0	0		今年度は一度もなかったが、ある時は必ず参加する。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	11	2	0	保護者を通して行っている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	8	0	ケアが必要な子どもがいれば、保護者を通して行う。	今は該当者がいないが、受け入れる時には体制を整えると思われる。 現状は受け入れが難しい。 受け入れ対象となっていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9	3	1		保護者からの情報を聞くにとどまっている。必要があれば聞くこともしたいが、現状は難しい。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9	3	1	小学生対象なので、中高生対象の事業所への情報提供はしている。 次の施設(中高生の事業所)への引継ぎがなされている。	小学生対象なので、必要性がない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10	2	1		時間が合わないので参加できていない。午前中やってもらえると出席できる。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	8	5	0	公園で一般児と一緒に遊ぶこともある。 行事やお迎え時などできょうだいなど触れ合う時間がある。	子ども同士の交流活動はあまりない。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	4	2		管理者が参加しているかどうかかわからない。 ネットワーク会議のみ参加。声がかかれれば参加する。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っている	13	0	0	お迎え時の引継ぎで 詳しく話すようにして いる。 連絡帳、メール、電話で の対応もしている。	
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	8	3	2	話をすることで一緒に 解決策を探るようにして いる。指導ではなく、理 解することが大切。 保護者の話を聞いて、 寄り添いながら一緒に 子どものために何がで きるかを、日々考えて います。	トレーニングという言葉で何とか なる事ではないと思う。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等 について丁寧な説明を行っている	13	0	0	入所時、管理者が行っ ている。	制度が年々変わるので困ってい る。わかりにくいものが多く、説 明しづらい。
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	13	0	0	すぐに答えられることは 話し、内容は他の指導 員にも伝えている。 きょうだい児も含めた子 育ての悩みは共有して いる。保護者同士をつ ないで、視野を広くもて るようにしたり、情報提 供ができるようにしてい る。	
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を支援 している	13	0	0	コロナ禍で縮小はして いるものの、円滑に進 むよう協力はしている。	
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の 体制を整備するとともに、子どもや保護者に 周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応している	13	0	0	スタッフ全員で共有で きる体制はとっている。	
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	13	0	0	子どもたちの活動の様 子や職員が受けた研修 報告もあり、内容が充 実しているので、毎回 熟読している。 月に1回、おたよりを発 行している。 内容は充実している。	
	㉗	個人情報に十分注意している	12	0	1	個人情報はシュレッ ダーにかけている。	
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしている	13	0	0	わかりやすい言葉で伝 えるように気を付けてい る。	
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域 に開かれた事業運営を図っている	5	5	3	バザーを開催。 地域に開かれた運営だ と思う。 親子活動は友達など参 加OKです。 地域のイベントに参加 することはある。	コロナ禍でやっていない。 バザーをしていたが、コロナで中 止にしている。 コロナ禍では難しい。
非 常	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に 周知している	12	1	0	スタッフ会議で周知され ている。	職員には周知しているが、保 護者への周知は不完全。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出その他必要な訓練を行っている	13	0	0	学期に1回行っている。	
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	12	0	1	子ども理解を深める学 習と虐待に関する研 修はしている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
時 等 の 対 応	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	3	1	個別支援計画に記載している。 身体拘束を行わない。	
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	12	0	1	保護者に聞いて対応している。 アレルギーの内容について周知されている。 十分気をつけている。	
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	13	0	0	危ないと思った時には作成して、共有している。	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。  
職員13名(合計数が合わないところは、未記入があったためです。)